

タルサイトを活用していま  
す。その複数は企業戦略で  
すので答弁を控えます。

当初額を上回った要因と  
しては、ポータルサイトの  
増設や担当者、委託業者の  
経験値、民間力として戦  
略・営業力・ノウハウ等も  
あるかと考えています。

新年度からの寄附金を増  
やす手段として、本年3月  
末をもって、ふるさと納税  
一括管理を行う事業者の委  
託期間が満了となることか  
ら、新年度におきましては、  
新しい民間の企業戦略、独  
自のノウハウを発揮しても  
らえるものと期待をしてい  
ます。

また、アンテナショップ  
「大町ふるさと館」が寄附金  
アップにどのような成果が  
あったのかというご質問に  
つきましては、大町町ある  
いはふるさと納税に関する  
認知度、好意度、意欲の醸  
成など、複合的な要素があ  
り、どれだけ大町町を知っ  
てもらえたか、あるいはふ  
るさと納税にどれだけ寄附

をいただいたかを具体的に  
示すデータ等は持ち合わせ  
ていません。

②ふるさと館は、ふるさと  
納税のアンテナショップと  
して、新たな役割を担って  
おり、事業費、その経緯・  
事情等はこれまで何回も  
説明をしてきました。した  
がって、現時点で希望に添  
える計画は考えていません。

③ふるさと館の指定管理に  
ついては、公募期間も終  
わっており、規定・ルール  
に基づいて新たな業者を選  
定し、提案しているところ  
です。今後3年間、施設の  
管理、アンテナショップと  
しての活用を任せるとい  
うことになっていきます。従  
いまして、町内町外を問わず  
個々人の考え、提案に対  
しての答弁は控えさせてい  
たきます。

### 伝承芸能の継承について

早田 康成

**議員** 全国各地に伝承芸能  
があり、それぞれの地域社

会の暮らしの中で伝承され  
てきた。大町も例外ではな  
く、町内の各集落でそれぞ  
れ伝承されてきた浮立太  
鼓、舞踊等が存在する。

この伝承芸能は、無形文  
化財であることから、引き  
継ぎ手がなければ途絶えて  
しまつのは理の当然である。  
いま最近の急速な少子高齢  
化により、継承者の減少、  
生活環境の変化によりその  
存続が危ぶまれている。

全国的に有名なくんにち  
においても人員不足のため伝  
承芸能にも危ぶむ声が聴か  
れるまでになっている。

このようなことから、町  
としてもこの無形文化財の  
継承に真剣に取り組む時  
に、いや、時期遅しにある  
と考えるが、これらの継承  
についてどのように考えて  
いるのか。

歴史を振り返ってみる  
と、農業、漁業の第一次産  
業を家業とするところが多  
かった。その際、避けるこ  
とのできない自然災害の脅  
威におののき、米の生産と

その生活は常に不安定で  
あった。現代の農業技術は  
なく、雨乞いや害虫、台風  
除け等の祈願をし、無事、  
収穫を迎えると、感謝を神  
に伝えるため、各地で芸能  
を奉納するのが常で、我々  
の先祖は神を祀る作法の一  
つとして芸能を奉納してき  
た。

藩政時代は、華美な衣服  
や、踊り、歌などが禁じら  
れていたが、祭事に関する  
芸能だけは許されていた。

それは、米は藩財政の根幹  
であり、凶作になれば、藩  
の財政も苦しくなることか  
ら、農民の祈願行事を保護  
することは当然であったの  
ではないかと考える。

現代に生きる我々は、時  
代の変化に惑わされること  
なく、先人が生活のためい  
かに苦労してきたかを改め  
て考えるべきである。ま  
た、今日では、交通安全、  
家内安全等と祈願の内容は  
若干変化しているものの、  
生活の安定に関する願い事  
に変わりはない。今に生き

る我々は自己の存在価値を  
見直すところにきていると  
考えるが、行政としてこの  
伝承芸能の継承をどのよう  
に考えているのかを伺う。

①浮立太鼓の太鼓・笛役の  
担い手の育成  
②不動寺、小通、下瀧、中  
島地区、伝承芸能それぞれ  
の存続について

③担い手不足による伝承芸  
能の町民協力について  
④伝承芸能への社会教育の  
在り方について

### 教育長

議員がご指摘のも

のはその中の民俗芸能のこ  
とだと受け止めます。大町  
の民俗芸能に当たるのは下  
瀧の面浮立、不動寺の皿踊  
り、中島の女相撲甚句、小  
通の豊年三助踊りがあげら  
れると思います。大町町の  
民俗芸能のみならず民俗芸  
能の担い手不足は全国津々  
浦々の共通の課題でありま  
す。いったん、やまったも  
のを復活するには相当の力  
が必要です。地域が本当に  
必要だと感じて復活に向け